



カテーテルアブレーション関連大会2025

ランチョンセミナー8

Luncheon Seminar 8

日時 2025年 5月30日(金) 11:50~12:50

会場 第5会場 宜野湾市立体育館
特設会場B 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜4丁目2-1

本セミナーは事前予約制です。大会ホームページより参加登録後、マイページから参加希望のランチョンセミナーを選択してください。
カテーテルアブレーション関連大会2025に参加するためには、Webでの事前参加登録が必須となります。詳細につきましては大会ホームページをご確認ください。 <https://new.jhrs.or.jp/catheab/>

心房細動
アブレーション成功率を
高めるための新たな視点：
～AI心電計と睡眠ポリグラフ活用の可能性～

座長 小川 正浩 先生

福岡大学病院 不整脈センター センター長
福岡大学医学部 臨床検査医学 主任教授

AIが導く心房細動アブレーションの
パラダイムシフト

演者 祖父江 嘉洋 先生

藤田医科大学ばんだね病院 循環器内科 准教授

心房細動×睡眠呼吸障害を攻略する

演者 林 英守 先生

順天堂大学医学部 循環器内科学講座 准教授



共催:カテーテルアブレーション関連大会2025
フクダ電子株式会社

カテーテルアブレーション関連大会2025

ランチョンセミナー8

心房細動アブレーション成功率を高めるための新たな視点： ～AI心電計と睡眠ポリグラフ活用の可能性～

AIが導く心房細動アブレーションのパラダイムシフト

祖父江 嘉洋

藤田医科大学ばんだね病院 循環器内科 准教授

近年、人工知能 (AI) の進歩により、心房細動 (AF) の診断および治療戦略は大きな変革期を迎えている。従来の12誘導心電図は、洞調律下では主に洞不全症候群や心室性不整脈の診断に使用されてきたが、AIを活用することで洞調律中から将来のAF発症リスクを高精度に推定することが可能となった。本講演では、AI心電計による隠れAFリスク評価の手法、臨床現場におけるAI解析の実践例、さらにAIを用いた基質評価がアブレーション戦略に与える影響について詳述する。最新エビデンスを基盤に、AI解析の有用性と課題を整理し、AIがどのようにAFアブレーションの治療方針を変革し、治療成績の向上や再発予測、患者個別化治療につながるのかを展望する。AI技術は従来の手法では見落とされがちであったリスク層別化を可能とし、脳卒中や心不全予防にも貢献しうる新たなスクリーニングツールとして、日常臨床に応用され始めている。本セミナーでは、最新のAI心電計の役割と、今後の臨床応用の可能性について包括的に解説する予定である。

心房細動×睡眠呼吸障害を攻略する

林 英守

順天堂大学医学部 循環器内科学講座 准教授

心房細動 (AF) アブレーションの成功率を高めるためには睡眠時無呼吸症候群 (SAS) を始めとした睡眠呼吸障害の適切な管理は極めて重要である。AF患者にSASが高率に合併することが知られており、術前スクリーニングが必要である。アブレーション中はSAS患者特有の呼吸変動を最小限にする気道管理を行い、カテーテルの安定性を確保することで正確な通電を行い、さらには合併症軽減対策が求められる。また、SAS合併AF患者では非肺静脈起源のAFトリガーが認められることも多く、これを想定した準備が必要である。術後管理においては、CPAP療法を適切に導入し、アドヒアランス向上を図ることで、再発予防およびアブレーション成績の向上が期待できる。本講演では、AFアブレーションにおけるSASの術前・術中・術後管理の戦略について概説する。

共催:カテーテルアブレーション関連大会2025
フクダ電子株式会社